

始業式メッセージ【1学期】

おはようございます。

新しい校長の渥見です。

この辺では珍しい名字で、東北の福島県の出身です。

東北なまりの校長だと覚えてください。

本校の校訓「誠実・高潔・奉仕」は、もう知っていますね。

まじめに、気高い心を持って、人に尽くすこと。

これらは心の姿の表れですから、検査したり点数化したりはできません。

身についているかどうかを測る一つの尺度は「昨日の自分」です。

昨日までできなかったことが、今はどれだけできるようになったか。

そのための心がけの一つは「よく聞いて、よく動く」ことです。

まず「よく聞く」。

その人が何を言っているのか、特に困っている人が何をしてほしいと思っているのか、その人の身になってよく聞くのです。

試験の問題を解くときに「この文章の筆者は何を言いたがっているのか」「この数学の問題はどこに気づかせたがっているのか」を読み取る場合も、就職してお客さんに対応する場合も、病院で患者さんに接する場合も、相手の言いたいことを聞きとることは一番の基本です。

その時、この人は自分の言いたいことを相手構わず言い散らしているだけだなど「聞き分ける」ことも必要です。

よく聞き取り、よく聞き分けた上で、動いた方がいいか、動かない方がいいか、動かならどう動いたらいいか、見極めて動く。

それが「よく動く」ということです。

考えなしにただ動き回ることはありません。

自分から見て感心しないことだったら、いくら周りが動いても勇気を出して自分は動かないのです。

スポーツをやっている人はすぐ分るはずです。

動くか動かないか、どう動いたらいいかを瞬間的に判断して、体が反射的に動くようになるまで練習を繰り返すのですね。

昨日の自分より少しでも成長できるように、勉強でも部活でも、日常の生活でも、

「よく聞いて、よく動く」。このことを心がけてください。

今日の入学式で370名の新入生を迎えます。

聖カタリナ学園高校の新体制が整います。

ここからが出発です。

ここからが出発なのですが、新3年生はこの1年しかありません。

一つの試験・一つの試合が最後の一回になるかもしれません。

心を引き締め、無駄のない悔いのない1年にしてください。

新2年生も、去年の自分と比べて、少しでも成長できる1年にしてください。

この後すぐに表彰しますが、硬式野球部の諸君が見事な花を咲かしてくれました。

夏には、もっと大きな花が咲くように、全校みんなで応援しましょう。

応援する一人ひとりが、それぞれ自分の花を咲かすことができるように、

この1年、まずはこの1学期、

「よく聞き、よく動いて」、今までよりもしっかりと生活を送るようになりましょう。